

10代から学ぶパーソナルファイナンス

Lesson 5 ライフプランとお金



日本FP協会

キャッシュフロー表を作ろう

Think! 10年後の自分を思い描いてみよう-----

高校卒業後はどんな進路を選択したい？

どんな仕事をしたい？

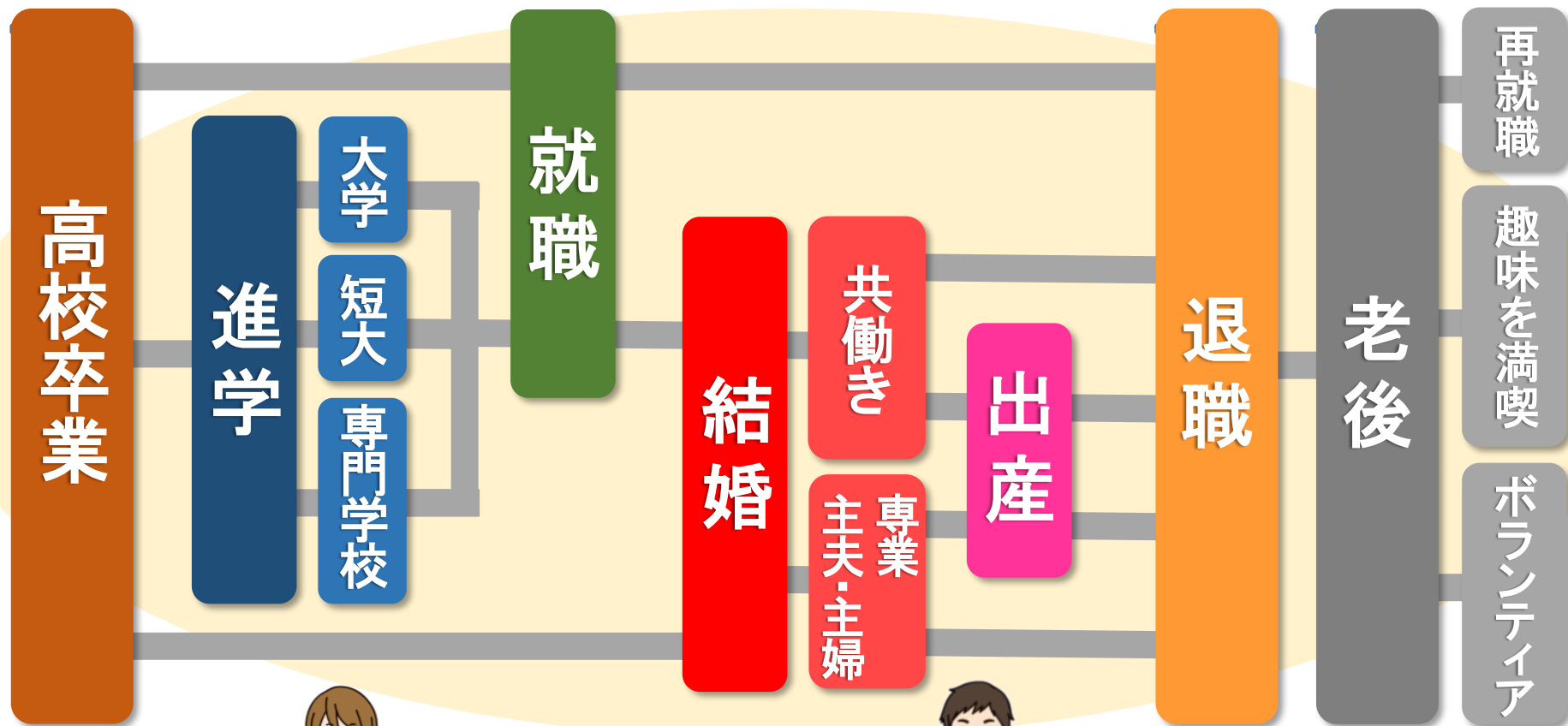
結婚したい？

子供は欲しい？

他にやってみたいことは？



高校卒業後の進路は人それぞれ・・・



さまざまなライフイベントとかかる金額の例



大学や専門学校への進学

私立大学の初年度学生納付金

文科系: 約119万円

理科系: 約153万円



子供の誕生

出産費用: 47万円



一人暮らしのスタート

初期費用: 約43万円

生活費: 17万円/月



住宅購入

建売住宅

3,500万円



結婚

挙式, 披露宴
ウェディングパーティ

総額: 330万円

キャッシュフロー表とは

- ライフプランを実現するために作成する、お金の出入りの年表のこと。
- 必要なお金の準備ができるかどうかをシミュレーションすることで、お金の流れを確認できる。

**アオイさんのライフプランを例に
キャッシュフロー表を作成してみよう。**

キャッシュフロー表の作成手順

① 本人と家族の名前

④ 予定している収入とその合計額

⑥ 収入合計から支出合計を引いた額

② 西暦と年度末時点の年齢

③ 今後の予定や希望
ex) 旅行、海外留学、車購入、
住宅購入、子供の進学予定、
起業、退職、海外移住……

⑤ 予定している
支出とその合計
額

⑦ 前年の貯蓄残高に、
年間収支の金額を
黒字の場合はプラス、
赤字の場合はマイナスする

項目 / 年度		20X0	20X1
① 本人と家族の名前	アオイ	18歳	19歳
	未来のパートナー	18歳	19歳
	1人目の子ども		
ライフイベント		高校卒業	大学入学 一人暮らしの スタート
④ 予定している収入とその合計額	アオイの収入	0	90
	保護者からのお金	15	120
	未来のパートナーの収入	0	0
	収入合計	15	210
⑥ 収入合計から支出合計を引いた額	生活費	0	84
	住居費	0	72
	趣味・娯楽費	14	36
	その他	0	25
	支出合計	14	217
年間収支		1	-7
貯蓄残高		1	-6

キャッシュフロー表の作成手順②

キャッシュフロー表の見方

収入は3項目あり、
収入合計はこれらを全て足した数字

支出は4項目あり、
支出合計はこれらを全て足した数字

年間収支はその年の

収入合計 - 支出合計

貯蓄残高は、手元に残るお金のこと。

前年度の
貯蓄残高 + その年の
年間収支

項目 / 年度	20X0	20X1
アオイ	18歳	19歳
未来のパートナー	18歳	19歳
1人目の子ども		
ライフイベント	高校卒業	大学入学 一人暮らしの スタート
収入		
アオイの収入	0	90
保護者からのお金	15	120
未来のパートナーの収入	0	0
収入合計	15	210
支出		
生活費	0	84
住居費	0	72
趣味・娯楽費	14	36
その他	0	25
支出合計	14	217
年間収支	1	-7
貯蓄残高	1	-6

年度単位で書か
れています

【例：アオイさんが希望しているライフプラン】

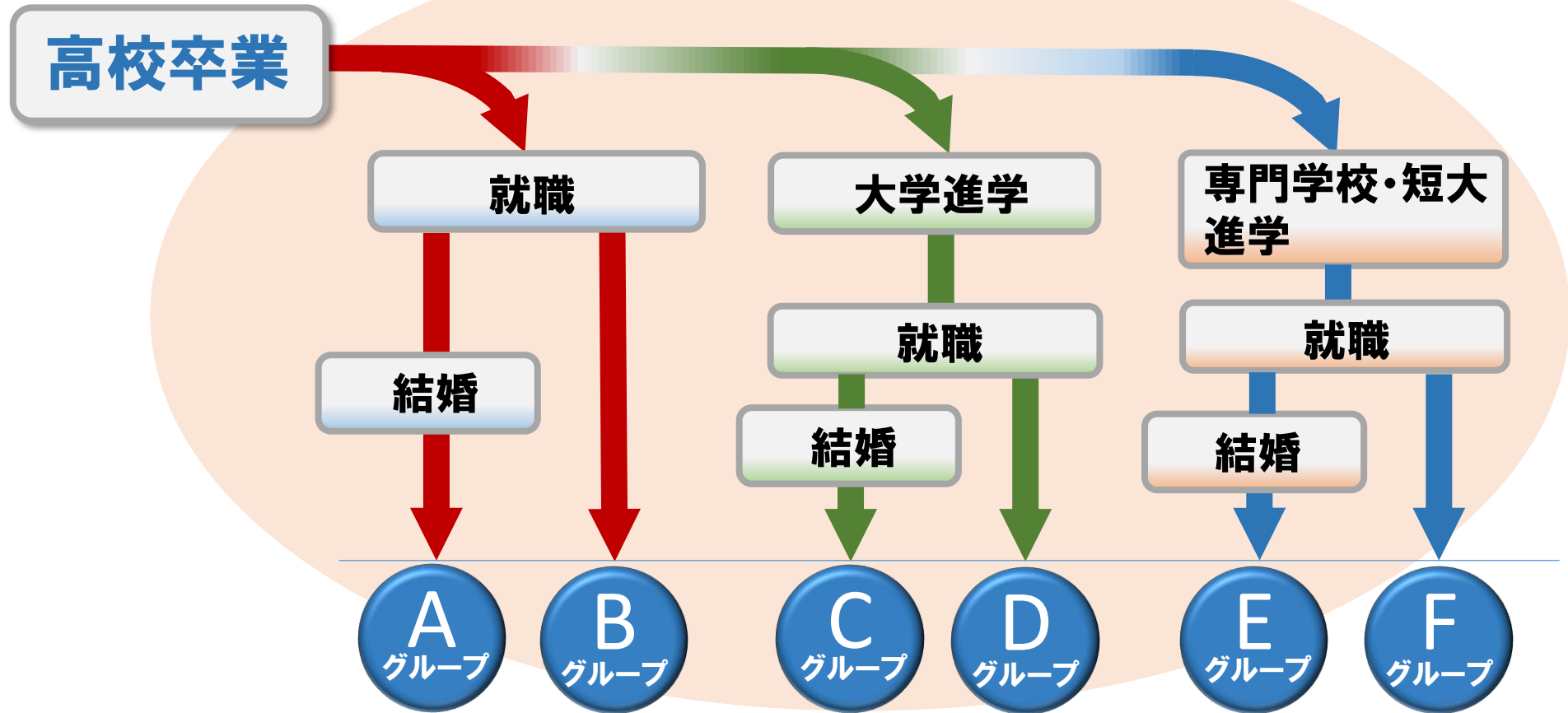
- 高校卒業後は、自宅から通えない大学に進学予定。
一人暮らしをスタートする
- 大学在学中の収入は、アルバイト収入と保護者からの仕送りを予定
- 生活費や家賃以外にも、
趣味やレジャーにお金を使いたい
- 卒業前に、海外へ卒業旅行に行きたい
- 就職と同時にもう少し広いところへ引っ越ししたい
- 8年後に結婚、9年後に子供が誕生するといいな



例：アオイさんのキャッシュフロー表

項目／年度		20X0	20X1	20X2	20X3	20X4	20X5	20X6	20X7	20X8	20X9	20Y0
アオイ		18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳
未来のパートナー		18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳
1人目の子ども											0歳	1歳
ライフイベント		高校卒業 現在もらっているお小遣いやお年玉	大学入学 一人暮らしのスタート	月額7.5万円のアルバイト収入と、月8万円の仕送りを予定		大学卒業 海外へ卒業旅行	就職 手取りの年収240万円を期待	毎年10万円のアップを期待		結婚 共働き、結婚資金の援助を予定	子ども誕生 夫婦で育休、収入ダウン	職場復帰
収入	アオイの収入	0	90	90	90	90	240	250	260	270	180	280
	保護者からのお金	15	120	96	96	96	0	0	0	100	0	0
	未来のパートナーの収入	0	0	0	0	0	0	0	0	270	180	280
	収入合計	15	210	186	186	186	240	250	260	640	360	560
支出	生活費	0	84	84	84	84	120	120	120	200	250	250
	住居費	0	72	72	72	72	90	90	90	120	120	120
	趣味・娯楽費	14	36	36	36	36	48	48	48	48	48	48
	その他	0	25	0	0	20	35	0	0	200	0	0
支出合計		14	217	192	192	212	293	258	258	568	418	418
年間収支		1	-7	-6	-6	-26	-53	-8	2	72	-58	142
貯蓄残高		1	-6	-12	-18	-44	-97	-105	-103	-31	-89	53
		1万円貯蓄ができた	月7万円の生活費、家賃は6万円、好きなことに月3万円くらい使いたい、そのほかは一人暮らしの初期費用		卒業旅行の予算は20万円		就職で生活費がアップ、部屋も引っ越した。家賃は月7.5万円		結婚関係の費用は200万円			

自分の理想に近いライフプランを1つ選んで、 自分のキャッシュフロー表を作ってみよう



キャッシュフロー表を見直そう

1

10年後の貯蓄残高はいくら？

万円

2

貯蓄残高が赤字（一の数字）になっているところに色ペンで〇をつけよう

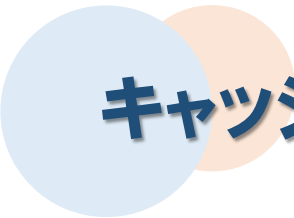
3

貯蓄残高が赤字続きになってしまう
原因はなんだろう？

キャッシュフロー表を見直そう

3 貯蓄残高が赤字続きになってしまう原因は？

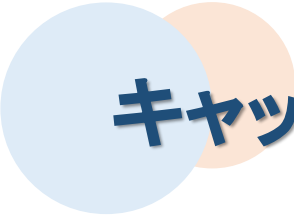
- 収入以上にお金を使っている
- 支出額（生活費、住居費、趣味・娯楽費）が多い
- 生活に変化があると（引っ越しなど）、お金がかかる



キャッシュフロー表を見直そう

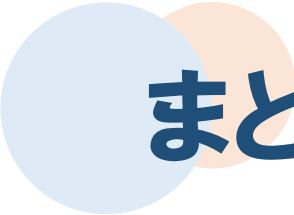
キャッシュフロー表を見直すポイント

- (**収入を増やす**) 方法を考える。
- ライフイベントの (**予算を減らす**)
- ライフイベントそのものを取りやめるか (**延期**) する。



キャッシュフロー表を作るメリット

- **いつ、どんなライフイベントがあるか、年表のようにまとめられる**
- **収入と支出の予定額を具体的に考える機会になり、予算作りにつながる**
- **毎年の収支を計算することで、黒字の家計で推移するかどうか確認できる**
- **大きな資金が必要なライフイベントまでに、貯蓄がたまるかどうか確認できる**
- **赤字続き、資金不足などの問題が生じることを発見でき、早めに対策を立てられる**



まとめ

- 希望するライフイベントを実現するために、将来を思い描いて、お金の準備ができるかどうか事前に計画することが大切である。
- お金以外にも、人(家族など)や時間なども重要な生活資源となっていることを踏まえて将来のプランを立てよう。
- キャッシュフロー表を作成することで、資金不足などの問題にも早めに対策を立てることができる。
- 収支が赤字続きになったり、予期せぬ問題が発生したときはキャッシュフロー表を見直そう。